

アカデミーコース一覧と詳細情報 サステナビリティコース



次のセクションでは、EcoVadisが提供するすべてのサステナビリティコースの詳細な一覧をご覧いただけます。これらのコースは、Enterpriseプラン登録企業（バイヤー）および評価対象企業（ビジネスパートナー）を対象に、サステナビリティに関する知識の向上を支援することを目的としています。

すべてのコースには以下の内容が含まれます。- このコースについて: コースの簡単な紹介と、取り上げるトピックの定義- このコースを始める前に: コース受講にあたっての簡潔で実用的な説明- クライアントの声（ほとんどのサステナビリティコース）: サプライヤーへの5分間のインタビュー（ビデオ形式）- テストを受ける: 10問テスト- コースアンケート: 顧客満足度調査への回答- ダウンロード可能な簡易チェックリスト（1枚）の配布（すべてのサステナビリティコースおよびバイヤーコース）コースを修了すると（テストで80%以上正解し、クライアント調査に回答後）、ダウンロード可能な修了証が発行されます。

文書分類: EcoVadis社外秘 - 使用制限あり（クライアント、第三者）

サステナビリティコース

サステナビリティコース													登録プランに基づく対象者			
コース名	章 / コースの構成	学習目標	対応言語							コースの 所要時間	評価対象企業 (Basicプラン)	評価対象企業 (Premiumプラン / Select プラン / Corporateプラン)	Enterpriseプラン登録企業	コースレ ベル		
入門コース																
サステナビリティ入門	1.「サステナビリティ入門」コースへようこそ 2.サステナビリティで世界的な影響を与える 3.サステナビリティのメリット 4.サステナビリティの課題を特定する 5.サステナビリティの管理 6.クライアントの事例	1.サステナビリティとは何か、そしてなぜそれが世界で求められているのかを理解する。 2.サステナビリティのメリットを理解する。 3.貴社の主要なサステナビリティの問題と、それらに対処するためのイニシアチブを開始する方法を特定する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	初級
サステナビリティマネジメントシステム	1.「サステナビリティマネジメントシステム」コースへようこそ 2.マネジメントシステムの構築 3.健康と安全に関する企業事例の研究 4.EcoVadisの評価手法を理解する	1.マネジメントシステムにより、企業内で継続的な改善プロセスが可能になる理由を理解する。 2.「計画、実行、評価、改善」のフレームワークまたは「方針-実施対策-結果」メソッドを作成する。 3.「方針-実施対策-結果」メソッドの原則がEcoVadisの評価にどのように統合されているかを理解する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	初級

環境コース

環境方針	1.「環境方針」コースへようこそ 2.環境方針に含める監査項目を特定する 3.ステークホルダーを特定する 4.方針を策定する 5.環境方針の実装	1.関連するコミットメントと目標により、独自の環境方針を策定する。 2.この方針を会社全体に適用する。 3.新しい方針をステークホルダーや一般の人々に伝える。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	初級
環境報告	1.「環境報告」コースへようこそ 2.環境報告の構造を理解する 3.重要な環境報告の監査項目を特定する 4.適切な報告メトリクスを特定する 5.報告フレームワークを使用する	1.環境報告に含まれるものを理解する。 2.報告に含める関連の課題を特定する。 3.特定のメトリクスを使用して、これらの課題を長年にわたって監視および報告する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
温室効果ガス排出量の追跡と報告	1.「温室効果ガス排出量の追跡と報告」コースへようこそ 2.二酸化炭素排出量の世界的な推移と実施対策 3.温室効果ガス排出の種類を特定する 4.排出量報告における内部ステークホルダーの関与 5.スコープ1排出量の計算 6.スコープ2排出量の計算 7.スコープ3排出量の計算 8.外部報告のフレームワークとサービスの理解	1.スコープ1、2、3排出の違いを理解する。 2.スコープ1と2の排出量を算出する。 3.自社の事業活動に関連するスコープ3排出を特定する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	1:00	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	初級
エネルギーと温室効果ガスへの実施対策	1.「エネルギーと温室効果ガスへの実施対策」コースへようこそ 2.カーボンフットプリントを削減する 3.ステークホルダーを特定して参加を促進する 4.イニシアチブを実施する	1.気候変動とは何か、なぜ会社がエネルギー消費量と温室効果ガス排出を管理することが重要なのかを理解する。 2.企業が実施できる適切なエネルギー効率および温室効果ガス排出削減の取り組みを特定する。 3.これらのプログラムイニシアチブの実施をサポートする内部のステークホルダーを特定し、参加させる。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:30	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	初級
廃棄物管理	1.「廃棄物管理」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う	1.企業における適切な廃棄物管理の重要性を理解する。 2.企業が実施できる適切なエネルギー効率および温室効果ガス排出削減の方法について理解する。 3.廃棄物の影響を軽減できる共通の対策を特定し、実施する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
持続可能な製品管理	1.「持続可能な製品管理」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う	1.持続可能な製品管理の重要性を理解する。 2.持続可能な製品を設計・開発するための戦略を定義する。 3.使用済み自社製品の持続可能な管理プログラムを策定する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
水管理	1.「水管理」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う	1.適切な水管理の重要性を理解する。 2.水への影響を最小限に抑えるためにステークホルダーと連携する。 3.水の消費と汚染を減らすための一般的な対策について理解する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
大気汚染	1.「大気汚染」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う 5.架空事例を使って学ぶ 6.クライアントの事例	1.大気汚染の影響を理解する。 2.大気汚染が企業と従業員にとって重要な問題である理由を理解する。 3.大気汚染の影響を軽減するためのイニシアチブを実施する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
顧客と製品の安全	1.「顧客と製品の安全」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う 5.架空事例を使って学ぶ 6.クライアントの事例	1.顧客と製品の安全が企業にとって重要である理由を理解する。 2.顧客と製品の安全に関するトピックにおけるステークホルダーの参加を促進する。 3.顧客と製品の安全の低下による悪影響を軽減するための措置を講じる。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
生物多様性管理	1.「生物多様性管理」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う 5.架空事例を使って学ぶ 6.クライアントの事例	1.生物多様性の重要な問題と、生物多様性を保全することが重要である理由を理解する。 2.ステークホルダーと協力して生物多様性に関わる影響を軽減する。 3.生物多様性を保護するために企業が取り組めることについて理解する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	初級

サステナビリティコース

サステナビリティコース														登録プランに基づく対象者			
コース名	章 / コースの構成	学習目標	対応言語										コースの 所要時間	評価対象企業 (Basicプラン)	評価対象企業 (Premiumプラン / Select プラン / Corporateプラン)	Enterpriseプラン登録企業	コースレ ベル
スコープ3温室効果 ガス排出量の算出	1.「スコープ3温室効果ガス排出量の算出」コースへようこそ 2.重要性と課題について理解する3.スコープ 3排出量の算出方法 4.架空事例を使って学ぶ 5.ケーススタディを使って学ぶ	1.スコープ3排出量とは何か、それが世界のサステナビリティの状況をどの ように変えているのかを理解する。 2.スコープ3排出量に対処することの重要性と課題を理解し、企業のサステ ナビリティ戦略を推進する。 3.企業がスコープ3排出量を算出して対処するために使用可能な手法およ びツールを使用する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセ ス(プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	中級	
カーボン削減目標の 設定	1.「カーボン削減目標の設定」コースへようこそ 2.目標設定に関するツールと課題について理解する 3.カーボン削減目標を設定する 4.架空事例を使って学ぶ5.クライアントの事例	1.気候関連の被害を防ぐことが重要である理由を理解する。 2.適切なカーボン削減目標を設定する。 3.企業の目標設定に役立つデジタルツールを特定する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセ ス(プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	中級	
有害化学物質	1.「有害化学物質」コースへようこそ 2.事業活動における有害化学物質の特定とリスクの最小化 3.有害化学物質廃棄物の管理と報告 4.有害化学物質に関する他の課題を掘り下げる 5.架空事例を使って学ぶ	1.有害化学物質に関連する主要な規制要件を理解する。 2.関連性が高く重要で管理すべき有害化学物質を認識する。 3.安全な取り扱い、保管、廃棄、および取引慣行を実践する。	EN									0:50	アクセス不可	フルアクセス	フルアクセス	中級	
水銀管理	1.「水銀管理」コースへようこそ 2.水銀を含む製造プロセスと製品 3.水銀廃棄物の管理 4.水銀の取引 5.サプライチェーンの水銀の管理と報告 6.架空事例を使って学ぶ	1.水銀管理に関連するリスクと課題を理解する。 2.製造工程、製品、取引、廃棄物管理において水銀を管理する。 3.国際的な基準および規制を遵守し続ける。	EN									1:05	アクセス不可	フルアクセス	フルアクセス	中級	

労働と人権コース

労働慣行と人権方針	1.「労働慣行と人権方針」コースへようこそ 2.労働慣行と人権方針に含める課題を特定する 3.ステークホルダーを特定する 4.方針を策定する	1.関連するコミットメントと目標により、独自の労働慣行と人権方針を策定する。 2.この方針を会社全体に適用する。 3.新しい方針をステークホルダーや一般の人々に伝える。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT		0:30	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	初級
労働慣行と人権に関 する報告	1.「労働慣行と人権に関する報告」コースへようこそ 2.労働慣行と人権に関する報告の構造を理解する 3.労働慣行と人権に関する報告の課題を特定する 4.適切な報告メトリクスを特定する 5.報告フレームワークを使用する	1.労働慣行と人権に関する報告に含まれるものを理解する。 2.報告に含める関連の課題を特定する。 3.特定のメトリクスを使用して、これらの課題を長期にわたって監視および報告する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT		0:35	制限付きアクセス (プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
従業員の安全衛生	1.「従業員の安全衛生」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う	1.従業員の安全衛生に含める具体的な実施対策を定義する。 2.実行計画および手順の導入方法を理解する。 3.すべての企業に関連するイニシアチブと、特定の業種に関連するイニシアチブを特定する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT		0:40	制限付きアクセス (プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
児童労働と強制労働 の防止	1.「児童労働と強制労働の防止」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う	1.児童労働と強制労働が事業活動に与えるリスクを理解する。 2.児童労働と強制労働を防止する際に頼りになる関連ステークホルダーを特定する。 3.事業活動において児童労働と強制労働を防止するための対策を特定して実施する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT		0:35	制限付きアクセス (プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
労働条件	1.「労働条件」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う	1.従業員の労働条件を改善することの重要性とメリットを理解する。 2.イニシアチブの実施時に参加を促進すべき適切なステークホルダーを特定する。 3.社内内で実施すべき最も現実的なイニシアチブは何かを判断する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT		0:40	制限付きアクセス (プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	キャリアマネ ジメントと 教育
キャリアマネジメン と教育	1.「キャリアマネジメントと教育」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う	1.従業員のキャリアマネジメントと教育が持つ重要性とメリットを理解する。 2.従業員のキャリア開発と研修に関する実施対策に参加するステークホルダーを特定する。 3.具体的なキャリアマネジメントの実施方法と効果的な研修プログラムの策定方法を特定する。	EN	FR	DE	ES	ZH		PT BR	JP	IT		0:40	制限付きアクセス (プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	社会対話と 団体交渉
社会対話と団体交渉	1.「社会対話と団体交渉」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う 5.架空事例を使って学ぶ 6.クライアントの事例I.	1.社会対話と団体交渉が企業と従業員にとって重要である理由を理解する。 2.制度化された社会対話と団体交渉が人権にどう関係しているかを理解する。 3.社会対話を改善するための取り組みを定義し、実施する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT		0:45	制限付きアクセス (プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	現代奴隷 制の特定と 是正
現代奴隷制の特定と 是正の方法	1.現代奴隷制に関する規制の概要 2.現代奴隷制を特定する方法 3.現代奴隷制の防止と是正の方法 4.シナリオA: 特定に関する基本イニシアチブ 5.シナリオB: 事案特定に関する高度なイニシアチブ 6.現代奴隷制に関するケーススタディ1.	1.強制労働などの各種現代奴隷制および世界各地の規制について理解する。 2.自社およびサプライチェーンにおける現代奴隷制を特定する方法について、さまざまなメカニズムを判別する。 3.事業活動およびサプライチェーンで現代奴隷制を防止するための実施対策を講じる。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT		1:15	制限付きアクセス (プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	中級
児童労働の特定と 是正	1.児童労働規制の概要 2.児童労働を特定する方法 3.児童労働を防止し是正する方法 4.シナリオA: 特定に関する基本イニシアチブ 5.シナリオB: 事案特定に関する高度なイニシアチブ 6.児童労働に関するケーススタディ	1.児童労働のさまざまな形態および世界各地の規制について理解する。 2.自社および自社のサプライチェーンで児童労働デューデリジェンスを定めて、実施する。 3.児童労働を防ぐための手段を実施し、バリューチェーンで児童労働のリスクを軽減する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT		1:15	制限付きアクセス (プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	中級

サステナビリティコース

サステナビリティコース													登録プランに基づく対象者			
コース名	章 / コースの構成	学習目標	対応言語									コースの 所要時 間	評価対象企業 (Basicプラン)	評価対象企業 (Premiumプ ラン / Select プラン / Corporateプ ラン)	Enterpriseプ ラン登録企業	コースレ ベル
人身売買の特定と是 正	1.人身売買規制の概要 2.人身売買を特定する方法 3.人身売買を防止し是正する方法 4.シナリオA: 特定に関する基本イニシアチブ 5.シナリオB: 事案特定に関する高度なイニシアチブ 6.人身売買に関するケーススタディ	1.さまざまな形態の人身売買、強制労働および世界各地の規制について認識する。 2.自社やサプライチェーンで人身売買を特定するためのさまざまな手法について理解する。 3.事業活動やサプライチェーンにおける人身売買を防止し、そのようなリスクを軽減するための手順について理解する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	1:15	制限付きアクセ ス(プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	中級
差別とハラスメントの 特定と是正	1.差別とハラスメントに関する規制の概要 2.差別やハラスメントを特定する方法 3.差別とハラスメントの防止と是正の方法 4.シナリオA: 特定に関する基本イニシアチブ 5.シナリオB: 事案特定に関する高度なイニシアチブ 6.差別とハラスメントのケーススタディ	1.さまざまな形態の差別およびハラスメントと、それらに対する世界各地の規制について認識する。 2.自社やサプライチェーンにおける差別とハラスメントを特定するためのさまざまな仕組みについて知る。 3.事業活動やサプライチェーンにおける差別やハラスメントを防止し、そのようなリスクを軽減するために企業が講じることができる措置について知る。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	1:15	制限付きアクセ ス(プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	中級
生活賃金	1.「生活賃金」コースへようこそ 2.生活賃金ベンチマークを使用する 3.生活賃金格差を測定して報告する 4.企業内の生活賃金格差を解消する 5.ケーススタディを使って学ぶ - ロレアル 6.ケーススタディを使って学ぶ - フィルメニッヒ	1.生活賃金を支払うことが貴社と従業員にとって重要である理由を理解する。 2.生活賃金格差を解消するために活用できるメカニズムやツールについて理解する。 3.サプライチェーンの生活賃金格差を解消するために、サプライチェーンのサポートを強化する方法について理解する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:10	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	中級
土地と生活の権利	1.「土地と生計の権利」コースへようこそ 2.企業の実施対策の実践 3.企業戦略の実施 4.架空事例を使って学ぶ	1.土地と生計の権利に関する主要な概念を定義し、理解する。 2.土地と生計の権利に関する国際的なガイドラインの基本要件を認識する。 3.さまざまな業種において、土地の取得に関連するリスクを特定する際に企業が考慮すべき事項を明らかにする。	EN									1:00	アクセス不可	フルアクセス	フルアクセス	中級

倫理コース

倫理方針	1.「倫理方針」コースへようこそ 2.倫理方針に含める監査項目を特定する 3.ステークホルダーを特定する 4.方針を策定する 5.倫理方針の導入	1.倫理プログラムにおける重要な監査項目を理解する。 2.組織における倫理方針の重要性について理解する。 3.倫理方針の書き方、実施方法について理解する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:35	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	初級
倫理報告	1.「倫理報告」コースへようこそ 2.倫理報告の構造を理解する 3.重要な倫理報告の課題を特定する 4.適切な報告マトリクスを特定する 5.報告フレームワークを使用する	1.倫理報告書に含まれるものを理解する。 2.報告に含める関連の課題を特定する。 3.特定のマトリクスを使用して、これらの課題を長期にわたって監視および報告する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:35	制限付きアクセ ス(プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
内部通報	1.「内部通報」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う	1.企業に内部通報チャネルが必要な理由を説明する。 2.効果的な内部通報手順の特徴を説明する。 3.通報された問題を監視し、対応を進める方法を理解する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:40	制限付きアクセ ス(プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
情報セキュリティ	1.「情報セキュリティ」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う	1.包括的な情報セキュリティプログラムが会社にとって重要である理由を理解する。 2.情報セキュリティ関連のリスクを軽減する取り組みに参加するようステークホルダーを促す。 3.会社で情報を保護するために重要な対策を特定、実施する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:40	制限付きアクセ ス(プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
腐敗行為防止	1.「腐敗行為防止」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う	1.社内において腐敗行為の防止措置を講じることの重要性を理解する。 2.腐敗行為関連のリスクを緩和する取り組みに参加するようステークホルダーを促す。 3.組織内の腐敗行為を防止し、この問題に対処するために重要な対策を特定、実施する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:40	制限付きアクセ ス(プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	初級

持続可能な資料調達コース

持続可能な調達方 針	1.「持続可能な調達方針」コースへようこそ 2.「持続可能な調達方針」に盛り込むべき課題の特定 3.ステークホルダーを特定する 4.方針を策定する 5.持続可能な調達方針の実践	1.関連するコミットメントと目標により、独自の持続可能な調達方針を策定する。 2.この方針を会社全体に適用する。 3.新しい方針をステークホルダーや一般の人々に伝える。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:35	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	初級
持続可能な調達報 告	1.「持続可能な調達報告」コースへようこそ 2.持続可能な調達報告の構造を理解する 3.持続可能な調達の中核的な報告課題を特定する 4.適切な報告マトリクスを特定する 5.報告フレームワークを使用する	1.持続可能な調達報告とは何かを理解する。 2.報告に含める関連の課題を特定する。 3.特定のマトリクスを使用して、これらの課題を長期にわたって監視および報告する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:35	制限付きアクセ ス(プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
サプライヤー行動規 範と契約条項	1.「サプライヤー行動規範」コースへようこそ 2.行動規範が重要な理由を理解する 3.サプライヤー行動規範の作成 4.ステークホルダーを特定する 5.サステナビリティ契約条項を作成する 6.サプライヤー行動規範の監視と実施	1.サプライヤー行動規範とサプライヤーのサステナビリティに関する契約条項とは何かを理解する。 2.サプライヤー行動規範に含める内容を特定する。 3.サプライヤー行動規範を監視および実施する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:40	制限付きアクセ ス(プレビュー モード)	フルアクセス	フルアクセス	初級

サステナビリティコース

サステナビリティコース													登録プランに基づく対象者			
コース名	章 / コースの構成	学習目標	対応言語							コースの 所要時間	評価対象企業 (Basicプラン)	評価対象企業 (Premiumプラン / Select プラン / Corporateプラン)	Enterpriseプラン登録企業	コースレ ベル		
バリューチェーンのリスクマネジメント	1.「バリューチェーンのリスクマネジメント」コースへようこそ 2.ステークホルダーを特定して参加を促進する 3.イニシアチブを実施する 4.イニシアチブに関する報告を行う 5.架空事例を使って学ぶ 6.クライアントの事例	1.サプライヤーマネジメントの基本的な実施対策について理解する。 2.バリューチェーンのリスクマネジメントにおいてリスク分析、現地監査、サプライヤーの能力育成を行う目的を突き止める。 3.サプライチェーンにおいて、サプライヤーの実施対策を実行してモニタリングする。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	初級
紛争鉱物	1.「紛争鉱物」コースへようこそ 2.包括的なマネジメントシステムを構築する 3.架空事例を使って学ぶ 4.ケーススタディを使って学ぶ	1.サプライチェーンにおける紛争鉱物のグローバルな環境・社会リスクについて理解する。 2.紛争鉱物の責任ある調達をビジネスモデルに組み込むための主要要因を特定する。 3.紛争鉱物に関するさまざまなガイドライン、規制、承認、認証の概要を把握する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	中級
木材とパーム油の責任ある調達	1.「木材とパーム油の責任ある調達」コースへようこそ 2.重要性と課題について理解する 3.イニシアチブを実施する 4.架空事例を使って学ぶ 5.クライアントの事例 6.テストを受ける	1.持続不可能なパーム油や木材製品を調達することが地球環境および社会に及ぼすリスクについて理解する。 2.木材とパーム油に焦点を当て、責任ある調達マネジメントシステムを構築するための重要なステップを特定する。 3.自社にとって適切な規制、認証、支持を特定する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	中級

一般コース

第三者機関による認証	1.「第三者機関による認証」コースへようこそ 2.認証の種類と認証監査人の特定 3.認証プロセスを理解する 4.業種に応じた認証を選択する	1.認証の意味を理解する。 2.自分の会社に適した認証は何かを確認する。 3.認証取得のための準備をする。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:30	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	初級	
意識向上研修	1.「意識向上研修」コースへようこそ 2.意識向上研修のメリットを理解する 3.意識向上研修の監査項目を特定する 4.ステークホルダーを特定する 5.意識向上研修プログラムの実施	1.継続的な従業員研修に投資することが重要である理由を説明する。 2.社内の従業員に最も関連性の高い研修トピックを特定する。 3.従業員の意識向上研修を実施する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:35	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	初級	
リスク分析	1.「リスク分析」コースへようこそ2.リスク分析の重要性を理解する3.最も一般的な分析リスク監査項目を特定する4.ステークホルダーを特定する5.リスク分析を実施する	1.リスク分析とは何か、それが重要なのはなぜかを理解する。 2.環境、社会、倫理のさまざまな監査項目について、リスク分析を行うための準備をする。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:35	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	初級	
デューデリジェンス入門	1.「デューデリジェンス入門」コースへようこそ 2.義務的デューデリジェンス 3.自主的デューデリジェンス 4.デューデリジェンスの報告 5.架空事例を使って学ぶ	1.デューデリジェンスとは何かを理解する。 2.デューデリジェンスが企業の財務リスク、風評リスク、人権リスクの低減にどのように役立つかを理解する。 3.デューデリジェンスが、事故発生を未然に防ぎ、企業のサステナビリティマネジメントシステムの強固な基盤を構築するうえで、どのように役立つかを理解する。	EN	FR	DE	ES	ZH				IT	0:45	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	初級	
報告基準	1.「報告基準」コースへようこそ 2.現在の報告基準要件を理解する 3.報告基準を実施する 4.シナリオを使って学ぶ 5.ケーススタディを使って学ぶ	1.重要なESG報告基準を理解して識別する。 2.マネジメントシステムを報告基準に合わせる利点を理解する。 3.貴社に適した報告基準を選択する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	中級
実施対策と認証の範囲	1.「実施対策と認証の範囲」コースへようこそ 2.実施対策の範囲を拡大する方法について理解する 3.認証の範囲を拡大する方法について理解する 4.架空事例を使って学ぶ 5.クライアントの事例	1.マネジメントシステム導入における対象範囲の意味を理解する。 2.対象範囲が企業にとって重要な理由を理解する。 3.社内における実施対策の導入範囲を拡大する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	中級
デューデリジェンスマネジメントシステムの実施	1.「デューデリジェンスマネジメントシステムの実施」コースへようこそ 2.ステップ1 - RBCをマネジメントシステムに組み込む 3.ステップ2 - 悪影響のリスク評価を実施する 4.ステップ3 - 特定されたリスクを停止、予防、軽減する 5.ステップ4 - プログラムの有効性を監視して報告する 6.ステップ5 - 実施した実施対策とその結果を開示する 7.ステップ6 - 特定されたリスクを是正する 8.EcoVadisツールによるサポート 9.架空事例を使って学ぶ	1.サプライチェーンでデューデリジェンスを実施する。 2.堅牢なデューデリジェンスマネジメントシステムの主要な要件を理解する。 3.関係するすべてのステークホルダーを巻き込む。 4.結果を開示して伝達する。	EN									1:40	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	中級
デューデリジェンス規制	1.「デューデリジェンス規制」コースへようこそデューデリジェンス規制：LKSGデューデリジェンス規制：CSDDDデューデリジェンス規制：現代奴隷法 2.架空事例を使って学ぶ	1.世界各国における主要なデューデリジェンス規制の基本的な側面を理解する。 2.主要なデューデリジェンス規制に沿ったマネジメントシステムの導入方法を理解する。 3.強力なマネジメントシステムが、法律遵守にとどまらず、企業にもたらすメリットを理解する。	EN									1:05	制限付きアクセス (プレビューモード)	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	中級
VSMEのご紹介	1.「VSME入門」コースへようこそ 2.レポートを作成する 3.基本モジュールで報告する 4.包括モジュールで報告する	1.VSME基準とは何か、またなぜ作成されたかを理解する。 2.VSME基準が誰を対象としているか、また事業にどのように役立つかを理解する。 3.VSME基準と、欧州連合のより広範なフレームワーク(ESRSなど)を比較して理解を深める。 4.VSMEの基本モジュールで、または基本モジュールと包括モジュールを併用して、サステナビリティレポートを開始する。	EN									0:45	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス	初級

アカデミーコース一覧と詳細情報 EcoVadis製品 コース



次のセクションでは、EcoVadisが提供するすべてのEcoVadis製品コースの詳細な一覧をご覧ください。これらのコースは、Enterpriseプラン登録企業（バイヤー）および評価対象企業（サプライヤー）を対象に、EcoVadisとは何か、その評価手法、そしてEcoVadisの製品がどのように役立つのかを理解してもらうことを目的としています。

すべてのコースには以下の内容が含まれます。- このコースについて:コースの簡単な紹介と、取り上げるトピックの定義- このコースを始める前に:コース受講にあたっての簡潔で実用的な説明- テストを受ける:10問テスト- コースアンケート:顧客満足度調査への回答 コースを修了すると(テストで80%以上正解し、クライアント調査に回答後)、ダウンロード可能な修了証が発行されます。

文書分類:EcoVadis社外秘 - 使用制限あり(クライアント、第三者)

EcoVadis製品に関するコース

EcoVadis製品に関するコース												登録プランに基づく対象者			
コース名	章 / コースの構成	学習目標	対応言語						コースの 所要時間	評価対象企業 (Basicプラン)	評価対象企業 (Premiumプラン / Selectプラン / Corporateプラン)	Enterpriseプラン登録企業			
EcoVadis入門: Enterpriseプラン登録企業向け	1.「EcoVadis入門: Enterpriseプラン登録企業向け」コースへようこそ 2.EcoVadisについて知る 3.EcoVadisのソリューションを把握する 4.オンボーディングに取り組み始める	1.EcoVadisがサステナビリティ評価を行うグローバル企業であることを理解する。2.EcoVadisが取り組みを支援できるサステナビリティの課題を理解する。3.EcoVadisが提供するさまざまなソリューションを理解する。	EN	FR	DE	ES			JP	IT	0:45	アクセス不可	アクセス不可	フルアクセス	
EcoVadisサステナビリティプロフィール	1.「EcoVadisサステナビリティプロフィール」コースへようこそ 2.EcoVadisサステナビリティプロフィールの概要	1.EcoVadisサステナビリティプロフィールを読んで解釈する。 2.EcoVadisのプラットフォームを活用してビジネスパートナーの改善点を特定し、バリューチェーン全体でサステナビリティを推進する。	EN	FR	DE	ES			JP	IT	0:30	アクセス不可	アクセス不可	フルアクセス	
カーボンアクションマネージャー: Enterpriseプラン登録企業向け	1.「カーボンアクションマネージャー©」コースへようこそ 2.EcoVadisカーボンアクションマネージャー©を導入する 3.カーボンアクションマネージャー©の評価手法を理解する 4.カーボンアクションマネージャー©を使用する 5.テストを受ける	1.カーボンアクションマネージャーの評価手法の仕組みを理解する。 2.カーボンアクションマネージャーを使用してビジネスパートナーのネットワークを管理し、そのパフォーマンスを監視する。 3.サプライヤーによる対策の実施をサポートする。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	アクセス不可	アクセス不可	フルアクセス
EcoVadis IQ Plus	1.「EcoVadis IQ Plus」コースへようこそ 2.EcoVadis IQ Plusの評価手法の仕組みを理解する 3.EcoVadis IQ Plusのセットアップを行う 4.パートナーを管理する 5.パートナーベース全体でサステナビリティに向けた改善を推進する 6.さらに踏み込む	1.リスク分析に不可欠な要素、リスク分析を実施すべき理由、IQ Plusが貴社のサプライベース全体を対象とした効果的なサステナビリティリスクマネジメントプログラムの開発に役立つ理由を理解する。 2.IQ Plusプラットフォームのさまざまな機能を自信を持って使用できるようになる。 3.IQ Plusのリスクデータを活用してコンプライアンス要件を満たし、貴社のサステナビリティ戦略を実行する。	EN	FR	DE	ES			PT BR	JP	IT	1:15	アクセス不可	アクセス不可	フルアクセス
EcoVadis入門: ビジネスパートナー向け	1.「EcoVadisの評価手法」コースへようこそ 2.EcoVadisについて知る	1.グローバル企業としてのEcoVadisを理解する。 2.EcoVadisが取り組みを支援できるサステナビリティの課題を理解する。 3.EcoVadisが提供するさまざまなソリューションを理解する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:15	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス
EcoVadisのサステナビリティ評価手法: ビジネスパートナー向け	「EcoVadisのサステナビリティ評価手法: ビジネスパートナー向け」へようこそ	1.EcoVadisが評価プロセス全体で使用するサステナビリティマネジメントシステムと「方針・実施対策・結果」のシステム 2.EcoVadisの採点計算式に反映されるEcoVadisの7つのマネジメント指標。 3.EcoVadisの評価基準にとって基礎となるサステナビリティの4つの項目。 4.評価プロセス全体で考慮される21のサステナビリティ基準。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:30	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス
EcoVadisのサステナビリティ評価: ビジネスパートナー向け	1.「EcoVadisの評価」コースへようこそ 2.EcoVadisの評価事前登録 3.質問票に回答する 4.専門家による分析を受ける 5.結果を理解する	1.EcoVadisサステナビリティ評価の質問票を取得するための事前登録を行う。 2.質問票に回答する。 3.正しい証明書類をアップロードする。 4.質問票を提出する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	1:00	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス
EcoVadisの改善製品: ビジネスパートナー向け	1.「EcoVadisの改善製品: ビジネスパートナー向け」へようこそ	1.EcoVadisが提供する改善のためのさまざまなツールとサービスを活用する。 2.サステナビリティに関するさまざまな長期的改善を実施するための是正措置計画をどのように活用するかを理解する。 3.EcoVadisが一部のクライアントに提供しているカーボン排出量の測定・モニタリングツール「カーボンカリキュレーター」を理解する。 4.改善を実施するための外部からの支援をどのように受ければよいかが分かる。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:30	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス
製品カーボンフットプリントデータエクスチェンジ	1.「製品カーボンフットプリントデータエクスチェンジ」コースへようこそ 2.製品カーボンフットプリントの計算3.(評価依頼企業向け) EcoVadis PCFデータエクスチェンジ機能を使用する 3.(ビジネスパートナー向け) EcoVadis PCFデータエクスチェンジ機能を使用する 4.架空事例その1を使って学ぶ - 強化型製品分析 5.架空事例その2を使って学ぶ - スコープ3排出量の改善	1.製品カーボンフットプリントとは何かを理解する。 2.自社製品のカーボンフットプリントの計算方法と自社にとってのメリットを理解する。 3.EcoVadis製品カーボンフットプリントデータエクスチェンジ機能の利用方法を理解する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:45	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス

EcoVadisの カーボン機能:ビ ジネスパート ナー向け	1.「EcoVadisのカーボン機能:ビジネスパートナー向け」コースへようこそ 2.EcoVadisのカーボン機能を導入する 3.EcoVadisのカーボン評価手法を理解する 4.カーボン評価を受けてカーボンスコアカードを受け取る 5.カーボンパフォーマンスを改善する	1.貴社が脱炭素化の取り組みに着手することが重要である理由、およびクライアントが脱炭素化を求めている理由を理解する。 2.EcoVadisがどのように役立つか、およびEcoVadisのカーボン評価手法の仕組みを理解する。 3.カーボンスコアカードの読み方、貴社のメトリクスの追跡方法、パフォーマンスレベルの改善方法を理解する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	1:15	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス
EcoVadisの炭 素国境調整措置 機能	1.「EcoVadisの炭素国境調整措置機能」コースへようこそ 2.CBAMのメリットを理解する 3.(施設運営者向け)CBAMの排出量を算出する 4.(報告申告者向け)CBAMコスト計算の原則を理解する 5.架空事例を使って学ぶ 6.(施設運営者向け)EcoVadisのツールを使用して製品レベルデータを開示する 7.(報告申告者向け)EcoVadisのツールを使用して製品レベルデータをリクエストし分析する	1.CBAMの基本とEUのCBAM規制の状況について理解する。 2.(施設運営者向け)CBAMコンプライアンスの期待事項を理解し、クライアントの要求事項に適合する排出量データ通信テンプレートの記入方法を理解する。 3.(報告申告者向け)カーボンアクションマネージャープラットフォームのCBAM機能を使用して、CBAM報告書を欧州委員会に提出する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	1:50	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス

アカデミーコース一覧と詳細情報 バイヤー/調達 コース



次のセクションでは、EcoVadisが提供するすべてのバイヤー/調達コースの詳細な一覧をご覧ください。これらのコースは、Enterpriseプラン登録企業（バイヤー）を対象に、ビジネスパートナーと連携して、継続的な改善を推進できるようにすることを目的としています。

すべてのコースには以下の内容が含まれます。 - このコースについて: コースの簡単な紹介と、取り上げるトピックの定義 - このコースを始める前に: コース受講にあたっての簡単な説明 - テストを受ける10問テスト- コースアンケート: 顧客満足度調査への回答- ダウンロード可能な簡易チェックリスト(1枚)の配布(すべてのサステナビリティコースおよびバイヤーコース)コースを修了すると(テストで80%以上正解し、クライアント調査に回答後)、ダウンロード可能な修了証が発行されます。

文書分類: EcoVadis社外秘 - 使用制限あり(クライアント、第三者)

バイヤー/調達コース

バイヤー/調達コース													登録プランに基づく対象者		
コース名	章 / コースの構成	学習目標	対応言語								コースの 所要時間		評価対象企業 (Basicプラン)	評価対象企業 (Premiumプラン / Selectプラン / Corporateプラン)	Enterpriseプラン登録企業
持続可能な資材調達入門	1.「持続可能な資材調達入門」コースへようこそ 2.監視、評価、報告3.ビジネスパートナーの参加を促進する	1.持続可能な資材調達の重要性を説明する。 2.持続可能な資材調達のベストプラクティスを日々の調達業務に組み込む方法を特定する。 3.持続可能な資材調達に関する取り組みをサポートするためにEcoVadisが提供しているソリューションとツールについて理解する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	1:00	アクセス不可	アクセス不可	フルアクセス
持続可能な資材調達の課題とメリット	1.「持続可能な調達の課題とメリット」のコースへようこそ 2.持続可能なビジネス慣行のメリット 3. クライアントの事例	1.持続可能なビジネス慣行を実践する際にビジネスパートナーが直面する3つの主要な課題を説明する。 2.持続可能なビジネス慣行のメリットを伝える。 3.持続可能なビジネス慣行についてビジネスパートナーを支援する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:20	アクセス不可	アクセス不可	フルアクセス
サプライヤーの反論	1.「サプライヤーの反論」コースへようこそ 2.サプライヤーのよくある反論に対処する 3.サステナビリティ評価のメリットを活用する	1.アクティブリスニングによってサプライヤーの見方を理解する。 2.サプライヤーがサステナビリティ評価への参加に反論する主な理由を特定する。 3.サプライヤーの反論に対処してサステナビリティ評価への参加を促す。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:25	アクセス不可	アクセス不可	フルアクセス
サステナビリティの継続的な改善	1.「サステナビリティの継続的な改善」コースへようこそ 2.PDCAステップ1: 計画 (PLAN) 3.PDCAステップ2: 実行 (DO) 4.PDCAステップ3: 評価 (CHECK) 5.PDCAステップ4: 改善 (ACT)	1.「計画、実行、評価、改善」フレームワークを使用する。 2.ビジネスパートナーと協力することの重要性を認識する。 3.EcoVadisの評価結果に基づいて改善を進める方法を理解する。	EN	FR	DE	ES	ZH	TK	PT BR	JP	IT	0:35	アクセス不可	アクセス不可	フルアクセス